



G's ACADEMY
TOKYO

Gs React 08



React+Styled-Components

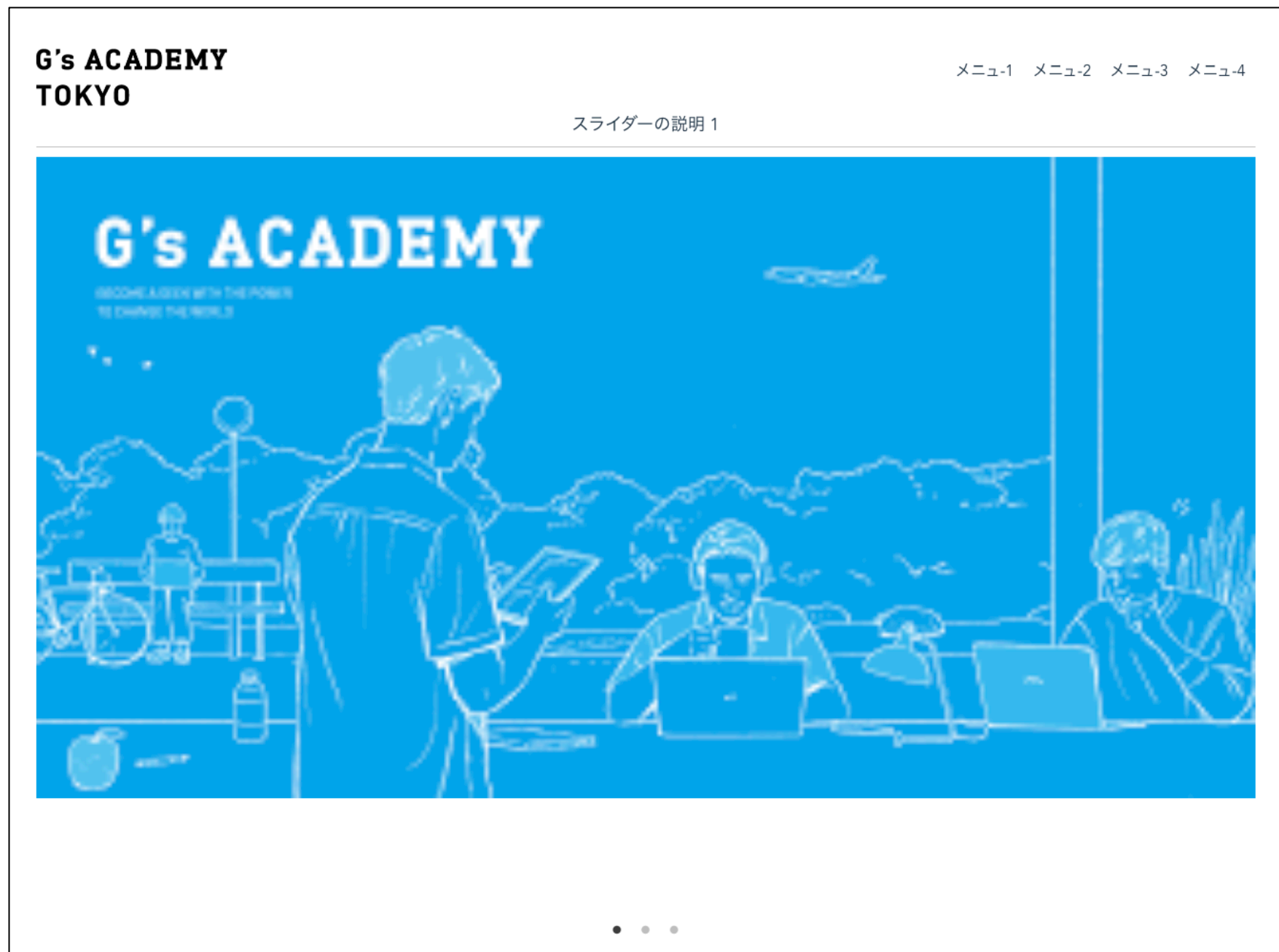
React+~~npm~~(今日はスライダー)

完成コード以下

[https://github.com/mitunori/
react_npm](https://github.com/mitunori/react_npm)

本日のゴール

本日の完成図



Styled-Componentsを使い画面構築+**npm**を利用しスライダーを実装する

課題について

Styled-Componentsを使いレイアウトする

- 1.Styled-Componentsを利用して画面を構築する
- 2.授業で使ったnpmなどを用いて機能を実装する（授業で使ったスライダーでもOK）
- 3.ページ遷移を作成する**

Styled-Componentsを使い画面構築、ページ遷移を行うことがゴールです 😊

事前設定

ターミナルで以下を行う

```
npm install styled-components  
npm install react-slick  
npm install slick-carousel
```

注意！！！！

お使いのPC（プロキシ）などの問題で誰か一人でも設定ができない場合は

codesandboxで対応を行います(ブラウザ上でReactを学べるもので、初回の際に触りました)

※一人一人の環境が違ふことはこちらでは全て把握できないのでご了承ください

必要な機能をインストールし、package.jsonに追加されていればOKです👍

コード実装（復習）

コード記述

```
App.jsx x
src > App.jsx > ...
1  import { useState } from "react";
2  import reactLogo from "../assets/react.svg";
3  import styled from "styled-components";
4
5  import "../App.css";
6
7  const Test = styled.div`
8    background: red;
9  `;
10
11 function App() {
12   const [count, setCount] = useState(0);
13
14   return (
15     <div className="App">
16       <Test>aaa</Test>
17     </div>
18   );
19 }
20
21 export default App;
22
```

次ページに続きます👉

コード記述

```
import styled from "styled-components";
```

importを用いて、Styled-Componentsを使えるようにします👏

使いたい場所で、**必ず**「import」をする必要があります👏

ポイント！

この一行を使用したいパーツの**先頭あたりでimport**しておいただけなのでコピペで貼り付けていきましょう！（先頭と書いていますが、場所はどこでもOKです！今回は**忘れないようにという意味**で先頭と記述しているだけです）

コード記述

```
const Test = styled.div`  
  background: red;  
`;  
;
```

命名のルールと特徴について

1.

const Test と書いている[Test]のTの部分は大文字（**先頭は必ず大文字！絶対に！**）

例) 先頭だけ大文字にする必要があります

```
const MoritaTag = styled.div
```

```
const OohoriTag = styled.p
```

2.

styled.divと書いている箇所ですが

styled.h1にすると⇒ h1タグの意味になります👏

styled.pにすると⇒ pタグの意味になります👏

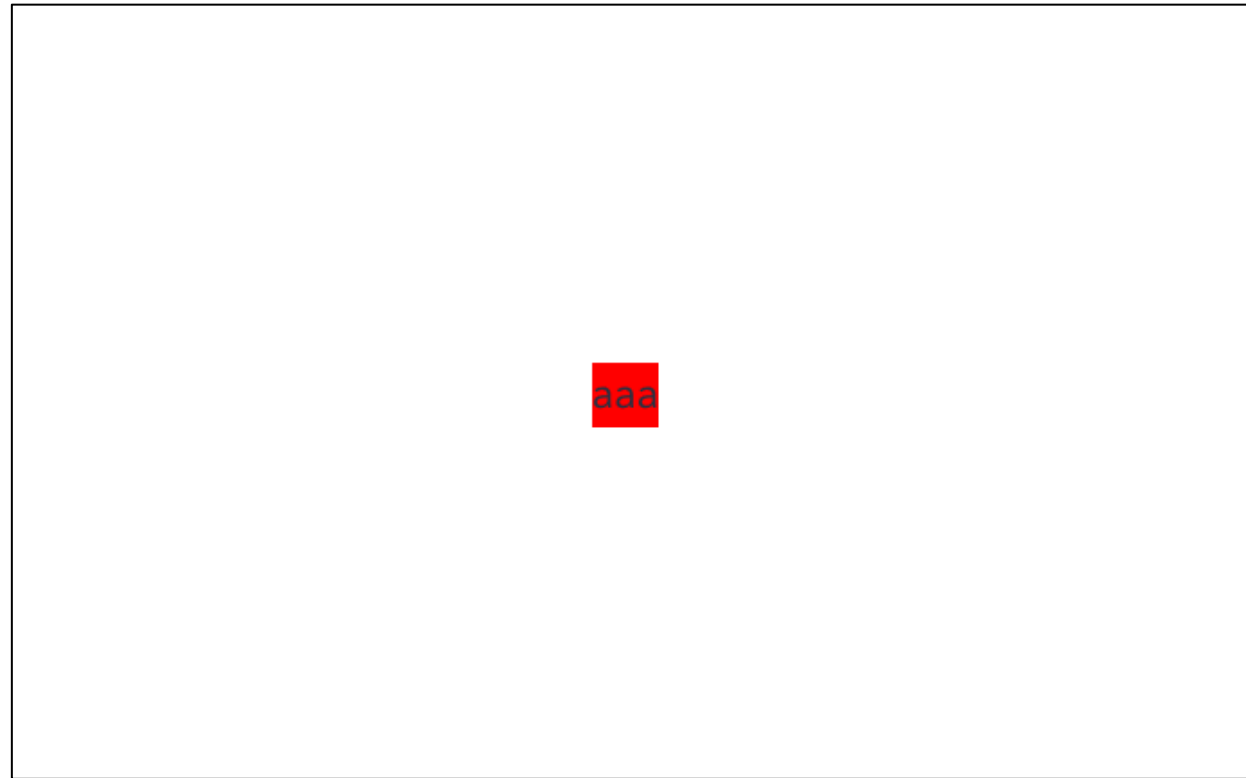
つまり[styled.xx] のxxのところに[htmlのタグ]を記述するとそのタグになります👏

コード記述

```
return (  
  <div className="App">  
    <Test>aaa</Test>  
  </div>  
);
```

先ほど作成した[const Test = style.div] の変数がStyled-componentsのcssが設定されているのでそれを使用したい箇所に上記のように設定してあげるとCSSが適用されます👏

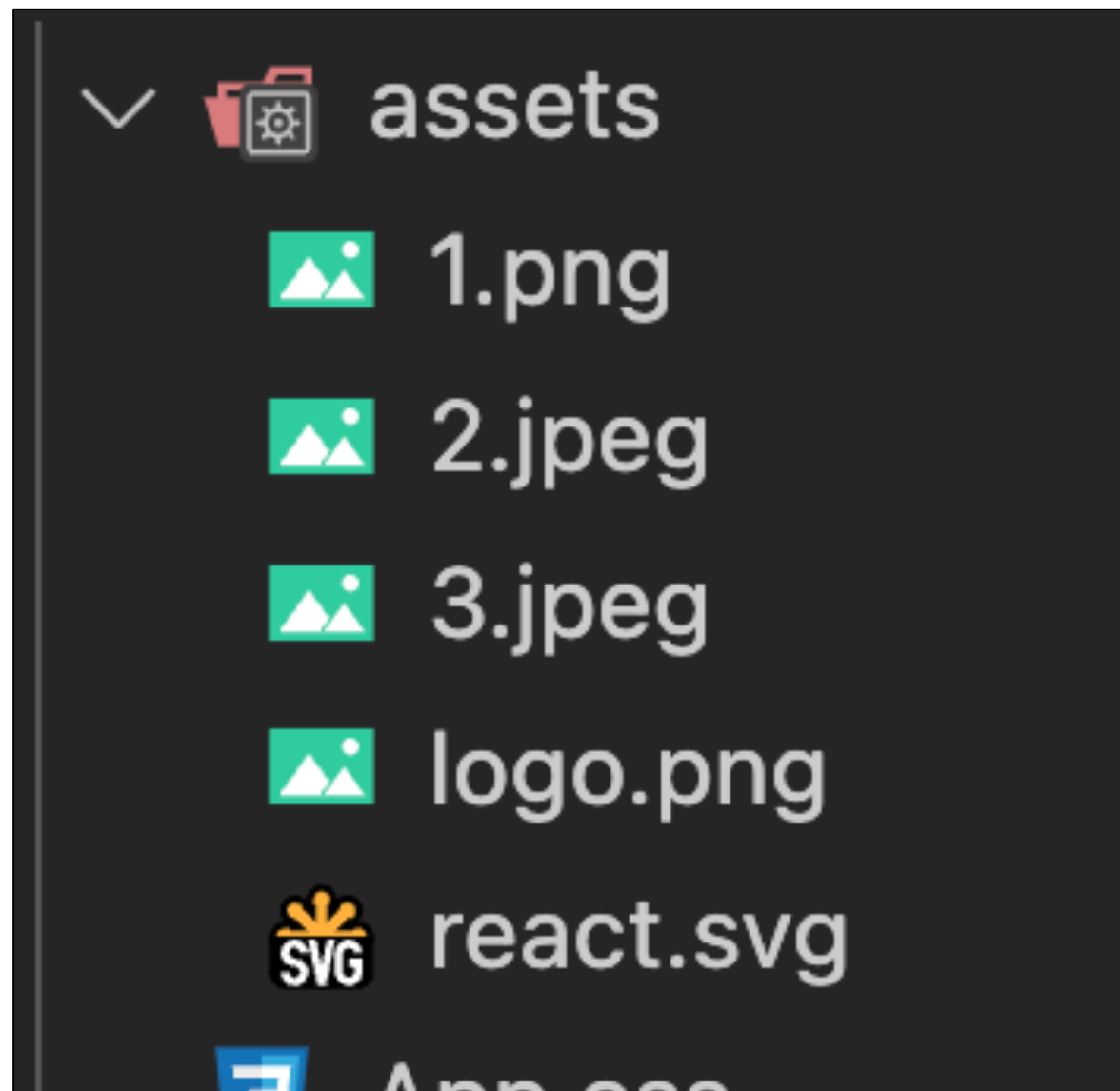
表示されると以下のようになります



このように「ファイル単位」= コンポーネント（パーツ）単位でCSSを設定できるので、
その**コンポーネントを見れば**「CSSの設定」も全て一つにまとめることができるのがポイントです👏

画像の表示(復習)

コード記述



ファイルの置き場所

src/assets/好きなファイル名

今回はlogo.pngというものを置いています😊

コード記述

```
5  import LogoImg from "../assets/logo.png";
6  import styled from "styled-components";
7
8  function App() {
9
10     return (
11       <div className="App">
12         <img src={LogoImg} alt="ロゴ" />
13       </div>
14     );
15 }
```

ファイルの置き場所

LogoImgと書いているところは好きな名前でもOKです😊（ご自身でわかりやすい名前ならOK）

使用する際はという風に srcの中に設定してあげましょう😊

演習1

以下のものを作成しましょう！

G's ACADEMY
TOKYO

メニュー-1 メニュー-2 メニュー-3 メニュー-4

ロゴを表示

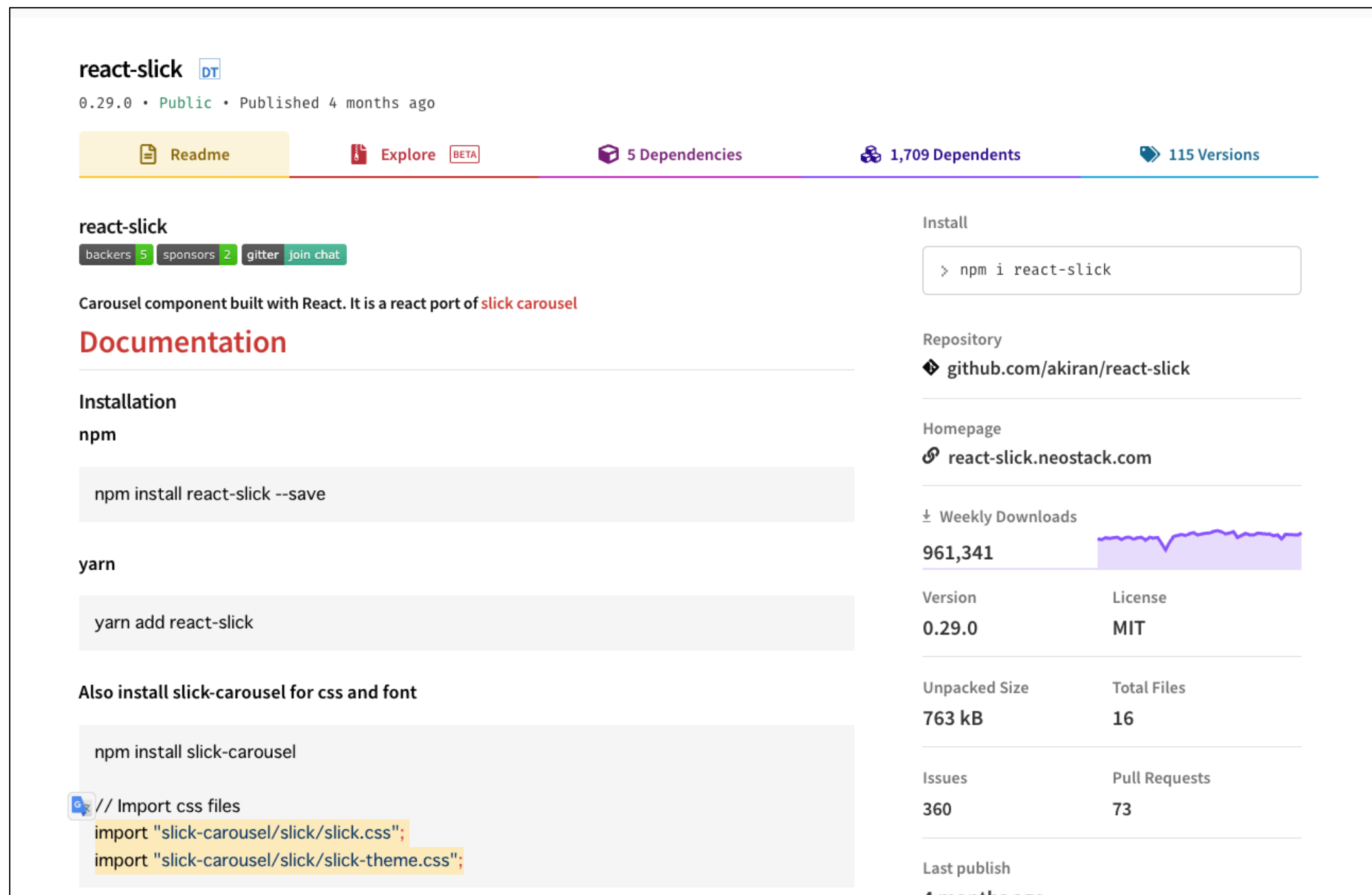
そして左側にはメニューのようなものを作成する

styled-componentsを用いて行いましょう😊

cssについてはいろいろな方法がありますが、一度チャレンジしてみましょう（見た目が同じであればOK）

スライダーの実装

npmの説明書を見に行きましょう！



The screenshot shows the npm package page for **react-slick**. At the top, it displays the package name, version (0.29.0), and publication status (Public, 4 months ago). Below this are navigation links: **Readme**, **Explore** (with a BETA tag), **5 Dependencies**, **1,709 Dependents**, and **115 Versions**.

The main section on the left contains the package description: "Carousel component built with React. It is a react port of slick carousel". It includes links for **backers** (5), **sponsors** (2), **gitter**, and **join chat**. A prominent **Documentation** link is shown. Under the **Installation** heading, it provides commands for **npm** and **yarn**. A note says "Also install slick-carousel for css and font" and provides a code block for importing CSS files.

On the right side, there is an **Install** section with a terminal command: `> npm i react-slick`. Below that is the **Repository** link: `github.com/akiran/react-slick`, followed by the **Homepage** link: `react-slick.neostack.com`.

A **Weekly Downloads** chart shows a value of **961,341**. Below this is a table with package details:

| Version | License |
|---------|---------|
| 0.29.0 | MIT |

| Unpacked Size | Total Files |
|---------------|-------------|
| 763 kB | 16 |

| Issues | Pull Requests |
|--------|---------------|
| 360 | 73 |

At the bottom right, it shows the **Last publish** time as **4 months ago**.

<https://www.npmjs.com/package/react-slick> 🤗

npmの説明書を見に行きましょう！

npm

```
npm install react-slick --save
```

yarn

```
yarn add react-slick
```

Also install slick-carousel for css and font

```
npm install slick-carousel
```

```
// Import css files  
import "slick-carousel/slick/slick.css";  
import "slick-carousel/slick/slick-theme.css";
```

or add cdn link in your html

```
<link  
  rel="stylesheet"  
  type="text/css"  
  charset="UTF-8"  
  href="https://cdnjs.cloudflare.com/ajax/libs/slick-carousel/1.6.0/slick.min.css"  
/>  
<link  
  rel="stylesheet"
```

こちらに記載されているものを授業では1から設定を進めていきます😊

npmの説明書を見に行きましょう！

Example

```
import React from "react";
import Slider from "react-slick";

export default function SimpleSlider() {
  var settings = {
    dots: true,
    infinite: true,
    speed: 500,
    slidesToShow: 1,
    slidesToScroll: 1
  };
  return (
    <Slider {...settings}>
      <div>
        <h3>1</h3>
      </div>
      <div>
        <h3>2</h3>
      </div>
      <div>
        <h3>3</h3>
      </div>
      <div>
        <h3>4</h3>
      </div>
    </Slider>
  );
}
```

該当箇所を確認し、コードを記述して設定をしていきます😊

npmの説明書を見に行きましょう！

```
<Slider {...settings}>
  <div>
    <h3>スライダーの説明 1</h3>
    <img src={one} alt="" />
  </div>
  <div>
    <h3>スライダーの説明 2</h3>
    <img src={two} alt="" />
  </div>
  <div>
    <h3>スライダーの説明 3</h3>
    <img src={three} alt="" />
  </div>
</Slider>
</div>
```

```
src > App.jsx > App
1   import Slider from "react-slick";
2   import "./App.css";
3   import "slick-carousel/slick/slick.css";
4   import "slick-carousel/slick/slick-theme.css";
5   import LogoImg from "../assets/logo.png";
6   import one from "../assets/1.png";
7   import two from "../assets/2.jpeg";
8   import three from "../assets/3.jpeg";
9   import styled from "styled-components";
10
```

ベースの内容をもとに、画像を表示できるように変更をしていきます😊
右側ではimportを使って画像の設定をしていますので、忘れないように！

表示されると以下

**G's ACADEMY
TOKYO**

メニュー-1 メニュー-2 メニュー-3 メニュー-4

1



表示されるとこのようになっています👉

演習

調整をして表示をしよう



スライダーの箇所、および、その他の箇所を調整して
自分でオリジナルのスタイルや、スライダーの設定を行いましょう 😊

まとめ

npmを利用することで簡単に機能が実装できる😊

最初は難しく感じるかもしれませんが、沢山の機能があるので利用してみましょう😊

1.使用する際はimportすることを忘れない

2.説明書（ドキュメントやリファレンス）な
どは必ず見ましょう！

3.困ったら[npm xxx]の記事を探しましょう！

Styled-Components（復習）とnpmを体感し

ていただきました😊

さまざまなnpmがあるので有効活用してみま

しょう😊

※なるべくわかりやすい表現やかなり噛み砕いた言い回しにしていますが、あくまでも一つの意見として参考にしてみてください

違う方や他の記事で色々な解説や説明などもありますので、それらと見比べながらやってみると理解が深まるかと思います